

# 令和5年 12 月 市長記者会見 配布資料

## 発 表 要 旨

期 日 令和5年 12 月8日(金)

時 間 午前 10 時～午前 11 時(予定)

## 発 表 内 容

- 1 令和5年度佐渡市一般会計補正予算(12月補正)について  
.....<財政課>
- 2 路線バス運転士緊急確保事業について  
.....<交通政策課>
- 3 市役所本庁舎の「ZEB Ready(ゼブレディ)」の認証について  
.....<総合政策課>
- 4 「佐渡島世界遺産登録・島民団結シンポジウム」の開催について  
.....<観光振興課>

### 【事前質問】

- ① 「佐渡島の金山」の世界遺産登録に向けたパリでのPRについて、成果や手応えを聞かせてください。(世界遺産推進課)

## 市長記者会見発表内容 要旨 (R5.12.8)

### 1 令和5年度佐渡市一般会計補正予算(12月補正)について

【配布資料あり】

<概要>

#### ■第7号補正(12月1日付けで専決処分)

補正額：5億5千436万8千円を増額

予算総額：542億6千539万2千円

#### 【補正内容】

- 本年度実施しました住民税均等割非課税世帯を対象とした3万円の給付事業を拡大し、1世帯あたり7万円を追加給付するものです。
- 支給対象は、12月1日に市内に住民登録のある住民税均等割非課税世帯です。
- あわせて、冬季の灯油購入費等の助成として5千円を上乗せし、7万5千円を給付します。
- 給付方法は2種類あります。1つ目は、プッシュ型給付で、本年度の3万円の給付世帯のうち、世帯構成等に変更のない世帯には前回振込口座への振り込み案内をお届けし、年内12月の給付開始を予定しています。
- 2つ目は、プッシュ型給付対象以外の世帯です。対象世帯へ確認書または申請書を発送しますので、届きましたら提出をお願いします。プッシュ型給付対象以外の世帯については、1月以降順次給付となります。

#### ■第8号補正

補正額：1千119万8千円を減額

予算総額：542億5千419万4千円

#### 【主な補正内容】

- ① 佐渡ふるさと島づくり寄附金
  - ふるさと納税の実績見込みに伴い、歳入・歳出において所要額を計上します。
  - 歳入では、当初予算において6億円を目標に見込んでいましたが、返礼品の充実や返礼品画像のブラッシュアップによる効果、10月の制度改正の影響による駆け込み需要により、10月末時点で、昨年度と比較して約1億2千300万円を超えるご寄附をいただいています。
  - 今後の増加を見込み、1億697万円を増額計上します。

- ② 公共工事の実施量が少ない4月から6月期の対応として、令和6年度に実施予定の道路維持・改良舗装工事などの公共工事の一部を前倒しして今年度に発注することで、公共工事の平準化に取り組むための債務負担行為を設定します。
- ③ 島内で貸切バスの台数が不足している状況が続いており、島外から修学旅行等で佐渡に来ていただく機会を確保するため、島内で貸切バスが確保できない場合に、バスの航送料等の一部の支援を行っています。令和6年4月からの修学旅行等の受入れに向けて、引き続き支援するための債務負担行為を設定します。
- ④ 継続費
  - 佐和田中学校大規模改修事業の事業実施期間の見直しに伴い、年割額を変更します。
  - 資材の価格高騰などにより工事費が増額することに伴い、庁舎整備費を増額します。

## 2 路線バス運転士緊急確保事業について

### <概要>

- 12月8日から今年度末まで、路線バス運転士緊急確保事業を、新潟交通佐渡(株)・佐渡市地域公共交通活性化協議会で実施します。
- 島内において運転士不足から減便等を実施するなど、危機的な状況となっているため行うものです。
- 本事業には5つの支援メニューがあります。
- 新潟交通佐渡(株)は、「職場見学」と「就職面接」の旅費、「大型2種免許取得費用」、「住宅確保」の4つの支援を行います。
- 佐渡市地域公共交通活性化協議会は、新潟交通佐渡(株)に新たに2年以上路線バス運転士として就業(正規雇用)する場合に、「就業支度金」として、初年度に70万円を支援します。さらに継続して3年就業した場合、30万円を追加支給しますので、あわせて最大100万円の就業支度金が支給されることとなります。
- 詳細は新潟交通佐渡(株)または佐渡市交通政策課にお問い合わせください。

### 3 市役所本庁舎の「ZEB Ready (ゼブレディ)」の認証について

#### <概要>

- 10月31日付けで、佐渡市役所本庁舎が地方自治体庁舎としては新潟県で初めて、「ZEB Ready」認証を取得しました。
- 「ZEB Ready」とは、石油や石炭などの一次エネルギー消費量を50%以上減らした建物に対する認証です。
- 新庁舎と改修中の現庁舎は、外壁の高断熱化や高効率な省エネ設備を整え、換気や冷暖房及び給湯、照明などが消費するエネルギーを62%削減した建物であると国に認めていただいたものです。
- 今後の計画として、新庁舎屋上にソーラーパネルを設置し、第2庁舎解体後の跡地を、ソーラーカーポートを備えた公用車駐車場として整備することにより、快適な室内環境を実現しながら、建物で消費するエネルギーを全て再生可能エネルギーで賄う「ZEB」の取得を目指していきたいと考えています。

### 4 「佐渡島世界遺産登録・島民団結シンポジウム」の開催について

【配布資料・チラシあり】

#### <概要>

- 「佐渡島の金山」の世界遺産登録に向けて、島民の皆様一人一人が誇りを持って取り組み、また、世界遺産の効果を一過性のものとせず、観光を通じた交流人口の増加、さらには移住・定住へとつながる持続可能な島づくりを目指すための「佐渡島世界遺産登録・島民団結シンポジウム」を、12月16日(土)12:30からアミューズメント佐渡 小ホールにて開催します。
- 基調講演として、世界遺産登録後も見据えた「地域の観光資源の磨き上げ」について、観光庁 観光資源課長の竹内 大一郎 様よりご講演いただきます。
- 世界遺産の先進事例である屋久島町から観光まちづくり課の岩川 健 様にお越しいただき、「世界遺産までの道のりと登録後の活用」についてお話を伺います。
- 世界遺産登録の意義と佐渡の未来について、島民の皆様と一緒に考えるパネルディスカッションを実施します。
- 悲願達成目前の今だからこそ、島民の皆様の世界遺産登録への意識がますます高まり、島全体で力を合わせて持続可能な社会づくりを目指していくためのシンポジウムとしたいと考えています。多くの方のご参加をお願いいたします。